



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

関西支部の活動

はじめに

コロイドおよび界面化学部会関西支部は1981年に組織された歴史のある支部です。関西支部では、毎年夏に「関西界面科学セミナー」と冬に「コロイド・界面実践講座」を開催しています。「関西界面科学セミナー」は、コロイド・界面化学の基礎を、「コロイド・界面実践講座」は、主に企業の研究者・技術者向けにコロイド・界面化学の応用を学ぶ場として企画しています。また、部会が主催する基礎講座の「界面コロイドラーニング」を2010年度から大阪でも開催し、毎年多くの方々にご参加いただいています。

第42回 関西界面科学セミナー

今年度の「第42回 関西界面科学セミナー」は2024年7月27日(土)に同志社大学室町キャンパスで開催しました。主題テーマを「界面吸着・付着の最前線2024～基礎現象から応用、製品まで～」とし、コロイド・界面における非常に基本的な現象である吸着や付着を取り上げました。吸着や付着は界面における様々な性質を制御するプロセスとして洗浄、化粧品、塗料、医薬品、食品、機能性材料など様々な分野に密接に関係しているため、その詳細な理解は種々の製品開発において欠かせません。そこで界面への吸着や付着現象を新たな視点で研究されている大学・企業の研究者に、基礎から応用まで解説していただくセミナーとしました。ご講演は、(1)岩崎泰彦先生(関西大学)「双性イオン型ポリマーによる生体機能界面の構築と生物付着」、(2)マク

ナミー キャシー先生(京都大学)「界面への分子吸着と相互作用力の測定」、(3)酒井秀樹 コロイドおよび界面化学部会 部会長(東京理科大学)「ベシクル・エマルションの分散安定性向上—二分子膜・吸着膜の構造・物性評価の視点から—」、(4)豊田直晃先生(日本メナード化粧品(株))「油水界面における超分子複合体形成を利用したW/Oエマルションの安定化」、(5)豊玉彰子先生(名古屋市立大学)「金微粒子のコロイド結晶化とSERS基板への応用」、(6)藤井秀司先生(大阪工業大学)「リキッドマープル工学：自然に学ぶ機能性材料の開発」と、バラエティに富んだ内容でした。参加者からも多数の質問があり非常に活発な議論が展開され、しばしば講演が予定時間を超過するほどでした。

講演終了後は学生による20件のポスター発表を行いました。ここでも熱心な質疑応答が予定時間90分を超えても続いていました。支部委員の厳正な審査の結果、ポスター優秀賞を安井貴則さん(大阪工業大学)「pH応答性ガスマープル系の構築」、安部美季さん(奈良女子大学)「中性子反射率法によるドデカン酸カリウムとジグリセリン誘導体混合系の気/液界面における吸着特性の解明」、梶亮汰さん(同志社大学)「シリカ表面間に



セミナーの様子



ポスター発表の様子

有機溶媒および水混合溶媒中で働く静電相互作用の評価」の3名に授与させていただきました。また、大阪大学で研究をされている大阪府内の高校生も1名参加してくれ、自分の研究結果を堂々と発表していました。このように小規模ながらアットホームな雰囲気の中で、深い議論を行うことのできるセミナーとなりました。

おわりに

関西支部のもう1つの重要なイベントである「コロイド・界面実践講座」は2025年1月10日に開催予定で、コロイド・界面化学における先端計測・評価を主題とした講座となります。皆様ぜひご参加下さい。

関西支部の委員は大学・公的機関と企業の研究者がほぼ同数で、コロイド・界面の「基礎から応用まで」を広く、深く学ぶ機会を提供できるような企画を心がけて運営しています。今後とも関西支部の活動にご支援をよろしくお願い申し上げます。

[2024年度関西支部長 石田尚之
(同志社大学)]

© 2025 The Chemical Society of Japan